



図書・資料室だより

家族・親子の関係 どうしてですか？ — 家族を知る本、考える本 —



『母が重くてたまらない 墓守娘の嘆き』
信田さよ子：著 春秋社

娘が考えていることはなんでも理解している、娘が人生の生きがい、結婚してもずっと娘をそばに置いておきたい。そんな母に対して苦しみながらも我慢し、罪悪感にとらわれている娘たち…。何処までも続く母の支配に苦しむ娘を「墓守娘」と呼ぶ。そんな娘たちの悩みをカウンセラー・信田さよ子さんが経験に基づいた解決への一助として贈る本。

『親の毒 親の呪縛』

岸田 秀・原田純：著
大和書房

親から精神的虐待を受けてきた当事者同士が、親への憎しみをありのままに語る。

完璧な親なんていない。しかし、子どもを愛せない親、所有物としか思わない親に育てられた子どもは生き方までも左右され成人後も苦しむ続けるという。親子関係に苦しむ人に読んでほしい一冊。



『新編 家族の練習問題
— 木陰の物語 —』

団 士郎：著 ゴマブックス

そっと寄り添うような語りとはんわかしたマンガで団士郎さんがご自身の3人の子育てエピソードを語っています。気楽に読めて、でも奥が深い。子育ての不安、家族の悩みの解決の糸口がみつかりそう。



『家族の勝手でしょ！写真
274枚で見る食卓の喜劇』

岩村暢子：著 新潮社

10年以上に及ぶ食卓の写真調査から、今どきの家族が見えてくる。調査初日と調査最終日の食卓の風景ががらりと違う家庭もあるように家族の本音や日常のリアルな姿が見える。その差について笑いたくなったり、うちも一緒とうなずいたり…。



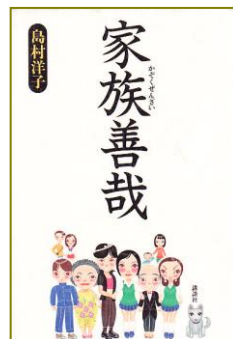
『家族善哉』

島村洋子：著 講談社

同じ高校に通う母・咲子と娘の美紗緒。

親子同じクラスだけれど友人はそれぞれ違う。ある日、咲子はクラスメイトの男子から告白されるが、それは美紗緒の意中の彼だった！

母と娘を中心に石井家の家族それぞれの視点で物語が進む。大阪弁で交わされる会話にクスッと笑える小説です。



『離婚後の親子たち』

氷室かな：著
太郎次郎社エディタス

離婚後の夫婦、親子の関係を取材した本書。別れた相手との親権問題、再婚後の新しい親との関係など、子どもと親は、離婚という事実をそれぞれどのように見つめてきたのだろうか。



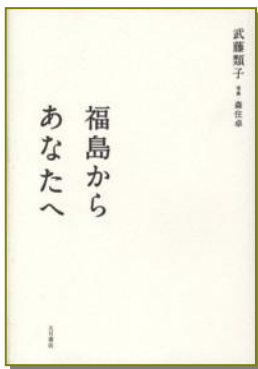
おすすめの一冊

『福島からあなたへ』

武藤類子：著 森住卓：写真 大月書店

2011年に行なわれた「9・19 さよなら原発集会」の武藤さんのスピーチを掲載し、「原発の対極にある暮らし」とは何かを考え、実践している武藤さんやその知人たちの思いを一冊にまとめたもの。

武藤類子さんはチェルノブイリ原発事故以来、原発反対運動に携わり福島原発事故以降は避難者や住民の暮らしや人権を守るための活動を精力的にされている。3.11を境に生活が一変し、絶望と怒り、悲しみという閉塞した現状の中にあって、人と人とのつながりや支えあいの気持ちが生まれたことを再確認したという。それは武藤さんが活動を続けていくための原動力となっている。



過去の新聞からピックアップ

【八幡商高の女子サッカー部

県内初の発足機に 地域育成へスクール開講】

近江八幡市の県立八幡商高に県内初の女子サッカー部が今年(1999年6月当時)発足したのを契機に部員と女子小中高生たちが一緒に練習する「八商女子サッカースクール」が開講することになり参加募集が始まった。(京都新聞 1999年9月5日付)



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」のPDF

…男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



『しごとをとりかえたおやじさん』

ノルウェー昔話

山越一夫：再話 山崎英介：画

福音館書店

毎日の仕事を取り替えてみた夫婦のお話。ノルウェーの昔話です。

いつもおかみさんに文句ばかり言っているおやじさんが、おかみさんの仕事を一日することになりました。しかし、やることなすこと失敗ばかり!! そのちゃらんぽらんさに笑ってしまうお話です。



…図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

9月の休室日 2日、9日、17日、24日、30日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



♪ひとこと♪

夏は家族旅行に帰省やお墓参りなど、「家族」というものを改めて意識しますね。家族は時に厄介で、いないと寂しい存在ですね。(N)



図書・資料室だより

残暑、ひんやり感を味わう本



図書・資料室には小説もたくさんあります。

そこで、今号は女性作家が描く怖い話やミステリーの本を集めてみました。日常にひそむ怖い話や昔の話など、夏の暑さを少し冷やしてくれそうな本はいかがですか？

宮部みゆき: 著

「あんじゅう 三島屋変調百物語事変」 中央公論社

三島屋の行儀見習い、おちかは、ひょんなことから百物語の聞き集めをする。おちかのもとにやってくるお客さまは胸の内に「不思議」をしまっている。

今宵も「黒百の間」で、どんな秘密が明かされるのでしょうか…。



辻村深月: 著

「鍵のない夢を見る」 文芸春秋

岐路に立つ 5 人の女性たち。普通の幸せを求めていたはずなのに…魔が差す瞬間がある。

女性作家が描く女性の嫌な部分、ずるさを描く。

岩城成子: 著

「そのぬくもりはきえない」 偕成社

9 歳の波は犬の散歩を引き受けて出入りするようになったあるお屋敷で古風な男の子に出会う。その男の子との時間はなんだかずれている感じだけれど気になる不思議な存在。

今の子どもをの心を繊細に描いた作品。



小池真理子: 著

「水無月の墓」 新潮社

どの話も自立した女性が主人公となっている短編集。日常から急に別世界へと繋がっているかのような錯覚、悪い夢を見ているようなけだるい感覚が…。読んでいて体がひんやりとしてくる。

おすすめの1冊

『天上の鼓』 畑 裕子：著 サンライズ出版 2009 年刊

滋賀県芸術祭賞受賞作品

老いをテーマに高齢者の生きる姿を描いた短編集。表題作「天上の鼓」他6編。

ある山奥の廃村に伝わる公然の秘事の謎を追う女性教師が、生物部の生徒たちと鈴鹿の山奥に蝶の採集に出かけた。山奥の廃村で偶然出会った老女と老女に付き添う女性。そこで一行は鼓の音色で舞う老女の姿に魅せられる。



過去の新聞からピックアップ

【介護保険 寸劇で説明】

介護保険が平成12年4月からスタートするのの前に、八日市市認知症老人の介護を考える会「ミモリの会」が手作りの寸劇を披露し介護保険の仕組みをわかりやすく紹介した。

「ミモリの会」は家庭で介護をしている人や経験者を中心とする市内の女性ら20人で構成、会の名称は、「見守」をミモリと読み、介護に関する情報交換や学習会、会報の発行などの活動を行っている。寸劇では市役所への介護サービス申請から訪問調査、介護認定審査会、プラン作成までの手続きを6幕に分けて紹介。約30分にわたって熱演した。(産経新聞 1999年8月23日)

介護保険 寸劇で説明

申請手続きなどを6幕に参加の300人が学習



八日市「ミモリの会」

図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

…男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



児童書『世界の女性名言事典』

未来を切りひらく希望のことば

PHP 研究所：編

偉大な業績により歴史に名を残すなど様々なジャンルで活躍した女性をとりあげ、彼女たちが残した言葉を集めた名言集。困難や挫折にもあきらめることなく信念を貫き通した女性たちから出た言葉の数々は、不安、自信がない、勇気が出ない時、そっと背中を押してくれます。心の支えとなるような言葉を見つけてみてください。

…図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

8月の休室日 5日、12日、19日、26日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



ひとこと

怖い話は苦手ですが、特集してみました。

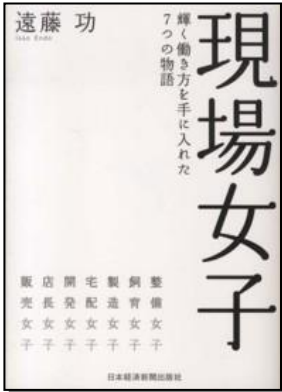
怖い話は、家に一人でいる時や夜中に目を覚まして、ふと思い出した時の方がよりぞっとします。(N)



図書・資料室だより



『現場女子 輝く働き方を手に入れた7つの物語』
遠藤功：著 日本経済新聞社



整備、製造、飼育、開発など「男性職場」といわれる「現場」で活躍する女性たちを取材。夢だけで終わらせることなく、人一倍の努力とこの仕事をやりたいという熱意や本気度が伝わってくる。

本当の女性活用とは何か、女性力を活かし、現場でも活躍できる女性を増やしていくにはどうすればいいのかを考える本。



『女たちが動く 東日本大震災と男女共同参画視点の支援』
みやぎの女性支援を記録する会：編著 生活思想社



災害時における女性へ向けたいきめ細やかな取組みが、あらゆる被災者への普遍的な支援に繋がっていくことが実証された。

女性たちの知恵が大きな力となって広がっていくことを願い、男女共同参画の視点で災害時支援を考えていくことの重要性を訴える。

女性の活躍応援！！ BOOKS

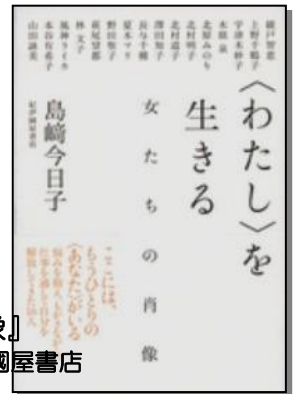


『働くママに効く心のビタミン』
上田 理恵子：著 日経 BP 社

仕事も家事も子育ても、全てを完璧にこなしていくのは大変。生活の中で悩んだり、迷ったりした時、疲れたなあと感じたときに効くワーキングマザーへの心のビタミン。



『〈わたし〉を生きる 女たちの肖像』
島崎今日子：著 紀伊國屋書店



作家、俳優、会社役員、議員など、各界で活躍している女性たち 16 人が人生を語る。

踏み越えてきた障害や悩み、失敗、葛藤の数々。仕事を通して〈わたし〉を解放してきた生き方とは？

図書資料室に
たくさん
あります！

「女性の働き方」の本いろいろ



『働くママ 専門ママ 子どものためにどっちがいいの』
三沢直子：著 緑書房



『女子学生のための キャリア・ガイダンス』
渡辺峻：編著 中央経済社



『あきらめない 働くあなたに贈る真実のメッセージ』
村木厚子：著 日経 BP 社



『働き続ける女子のための ルールとお金のお話』
宮本美恵子：著 中央経済社

おすすめの1冊



『おかみのさんま 気仙沼を生き抜く
魚問屋3代目・斉藤和枝の記録』
斉藤和枝：著 日経BP社

気仙沼で3代続く「斉吉商店」を営むおかみの斉藤和枝さん。魚問屋の長女として家業を継ぎ、結婚後に主力商品「金のさんま」など水産加工品の製造・販売を夫婦で起業。しかし事業が軌道に乗りかけた矢先、東日本大震災で、工場や本社のほとんどを失ってしまった。

様々な人々のご縁や励まし、従業員たちの協力を糧に「どんなときも動く！」を意識して災難を乗り切った和枝さんの力強さが伝わります。

和枝さんの大切にしている言葉や温かい会話が随所にあり、とても心温まる読み物です。



過去の新聞からピックアップ

【「子育て教室」広がる輪 大津市に100カ所】

子育て最中の母親たちと子どもたちが集まる「子育て教室」が大津市で広がっている。市が主催する集まりもこの10年ほどで2か所から5か所になり、母親たちが自主的に開いているところは市も把握できないほど増えているという。保育園に通う前の子どもの友達探しの場であるとともに、近隣とあまり付き合いがなく、育児の相談相手がいないという悩みを持つ母親たちの情報交換の場にもなっている。(朝日新聞 1999年7月8日)



図書・資料室では

「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

…男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



「恋ちゃん はじめての看取り」

おばあちゃんの死と向き合う」

國森康弘：写真・文 農文協

身近な人の死と向き合うことで、一人ひとりが「いのちのバトン」をつないでいるという生命の重みを子どもたちに理解してほしいと、写真家の國森康弘さんが滋賀県東近江市の集落を訪ね、小学5年生の恋ちゃんのご家族が、おばあちゃんを看取るまでを記録した写真を絵本にされました。

死へと向かうおばあちゃんの表情、それを温かく見守るご家族。悲しいことなのに、ほんわかとした時間が流れているように感じられる絵本です。

…図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

7月の休室日 1日、8日、16日、22日、29日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



♪ひとこと♪

夏に向けて、最近は冷感シートや枕などの寝具が売られています。「ホントに冷たいの？」と購入を迷っていますが、「今年は猛暑」と、天気予報で耳にすると、そういう商品をやっぱり買いたくなります。(N)



この本、読んでみて! **図書・資料室だより**

男女共同参画社会がわかるパンフレット - SHIGA 版 -



滋賀県では男女共同参画社会をめざした様々な取り組みが行なわれています。中でも、県が行う取組みの内容を具体的に県民の方にお伝えするよう、パンフレットという形で発行しています。

「男女共同参画って?」がわかりやすく楽しく学べる滋賀県発行のパンフレットの数々をご紹介します。

◆◆図書資料室では、滋賀県以外の自治体のパンフレットや行政資料も多数そろえています。ぜひご利用ください◆◆

滋賀のお父さん、子育てや地域行事、楽しめますか?



★ファミリースマイル UP!

発行:男女共同参画課/H24 年
男性の育児参加や地域活動などに焦点をあてた啓発パンフレット。

あなたの家庭や地域における考え方をチェック!



★みんながパートナー
男女共同参画啓発シート

発行:男女共同参画課/H24 年
家庭編・地域編・働く場編・教育編の 4 シートあり、それぞれの立場に合わせて考えることができる。



滋賀県民が考える男女共同参画。あなたの周囲はどうですか?



★滋賀の男女共同参画

発行:男女共同参画課/H25 年
統計で見る滋賀の男女共同参画状況や県の施策を図でわかりやすく解説。

デートDV防止啓発のパンフレットとカード



★あなたの恋愛充実度は何パーセント?

発行:男女共同参画課/H23 年
10 代~20 代の人を対象にした、デートDV 防止啓発パンフレット。

★私・僕たちって、「いい関係」かな...
~デートDV って知ってる?~

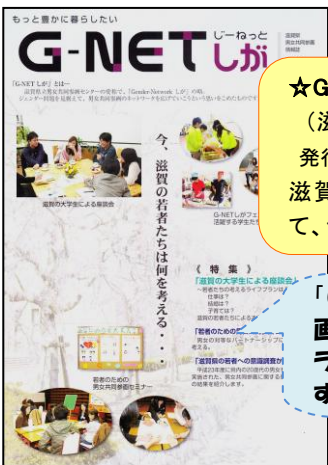
発行:男女共同参画センター/H23 年
携帯に便利なカードサイズのパンフレット。

★G-NETしが情報誌

(滋賀県男女共同参画情報誌)

発行:男女共同参画センター/年 2 回
滋賀県内の男女共同参画について、旬な話題や情報を提供。

「G-NETしが推進員」企画編集による取材記事やコラムなど、多彩な内容です!



ご紹介したパンフレット等のご利用については...

各資料の発行元へお問い合わせください。残部がある範囲内でお配りすることができます。また、各資料は、滋賀県男女共同参画課、滋賀県立男女共同参画センターホームページからもダウンロードしてお使いいただけます。

男女共同参画課 <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/index.html>

男女共同参画センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/g-net/index.html>

おすすめの1冊



『上野先生、勝手に死なれちゃ困ります
 僕らの介護不安に教えてください』
 上野千鶴子 古市憲寿 著 光文社 (369.2円)



20代～40代の親世代にあたる方はまだまだ仕事や趣味にと元気な方が多いと思います。しかし、確実に人は年を重ね老いていきます。親子で介護や老後のことを話さきっかけがないまま、親の介護や死は前触れなくやってくるかもしれません。

若い世代は親の介護についてどういった心構えが必要なのでしょう。上野さんの教え子でもある若き社会学者の古市さんの疑問や考え方を「上野先生」が答えるというスタイルで若者の介護意識や世代間の格差について語りあう内容です。



過去の新聞からピックアップ

「女性は「さん」付け 議員の呼び方改める」

県議会は慣例で「君(くん)」付けにしていた議員の呼び方を改め、女性議員は「さん」付けにすることにした。

4月の改選で過去最多の5人の女性議員が誕生。「呼び方を変えては」という提案が出された。

議会事務局によると、「今後は男女とも『〇〇議員』などと呼ぶのが良いと思う。これからもおかしいと感じたことを変えていきたい」と話している。

【産経新聞 1999/06/23】



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

滋賀県男女共同参画社会推進センター

男女共同参画社会で育む... 絵本・子どもの本



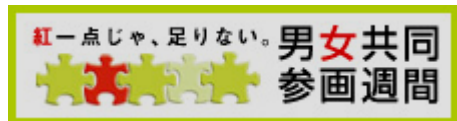
『新13歳のハローワーク』

村上龍：著 はまのゆか：絵

13歳頃の子どもの対象にした子どものための職業図鑑。本書は前作「13歳のハローワーク」を現在の社会状況にあわせ、改訂版として2010年に出版されました。

好きな教科や学校での過ごし方から、自分の興味や適職を見つけるスタイル。親子で将来について語り合うときにぴったりの本です。

6月23日～29日は...



♪ひとこと♪

今号は男女共同参画に関するパンフレットを特集しました。初歩知識として、データも豊富なので重宝する資料です。ぜひ講座などにもご活用ください。

旅先での観光パンフレットなどは見るだけで楽しいですね。(N)

...図書・資料室 ご利用案内...

開室時間 9:00～17:00

6月の休室日 3日・10日・17日・24日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



図書・資料室だより

あたらしい本

この本、
読んでみて!

『生活保護とあたし』

和久井みちる 著 あけび書房
(369.27)

生活保護を3年間受給していた著者が、どんな暮らしを行ってきたかをありのままに伝える。ある自治体の職員として働いていた著者は夫からのDVによってうつ病を発症、失職し生活保護受給者に。受給者として暮らしてみても分かったこと、日常に感じた辛さや不便さ…。たくさんの人に生活保護の実態を知って欲しい、一生懸命生きているんだということを知ってほしいという思いで書かれた本。



『女たちのお葬式』

NPO法人葬送を考える市民の会 著
太田出版 (385.67)

「納得のいく、心のこもった、自分らしいお葬式」を実現した女性たちがその工夫やノウハウを伝える本。

「終活」という言葉もあるように、自分のお葬式やお墓について真剣に考える人が増えている。そんな中、札幌の女性たちがお葬式を考える市民の会を立ち上げ、常識や慣習を超えた、自分らしい葬送のやり方を生み出した。

模擬葬送や旅立ちの衣装など写真も掲載され、「終活」の参考にいかがでしょうか。



『妻たちの介護』

在宅介護で孤立しないために』
中村 和仁 著 新泉社
(369.24)

介護は妻や嫁が行なうことが多く、それが当たり前と考えられていることも多い。本書はそうした妻が在宅で介護し孤立や離婚してしまったケースを紹介し、そこから何か工夫できることや、どうしたらいいのかという問題解決の手がかりとなればと、まとめられた。



『父親はどこへ消えたか』

映画で語る現代心理分析』
樺沢紫苑 著
学芸みらい社シエスタ (367.34)

2012年に公開された映画には、「父親不在」の作品がとて多かったので気付いた著者が、父性や父親の存在とは何か、不在の理由を探る。

最近の映画やアニメのキャラクターを例にとって解説され、その映画から時代の流れ、社会背景をとらえている。



『烈しい生と美しい死を』

瀬戸内寂聴 著 新潮社
(914セ)

90歳を迎えた瀬戸内寂聴が『青鞥』をはじめとする明治時代を烈しく生きた女性たちの道に自らの波乱万丈の人生を重ねて描いたエッセイ。小説家として歩み始めた頃とても影響を受けたという『青鞥』。発刊されてから100年目にあたる2011年にこのエッセイを執筆された。



『花嫁はなぜ顔を隠すのか』

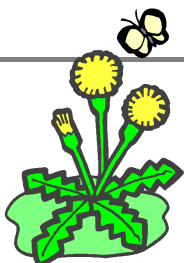
増田 美子 編 悠書館
(383.27)

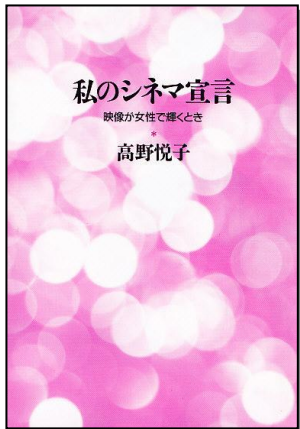
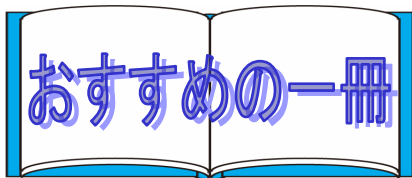
東洋西洋を問わず、結婚式の花嫁といえば、角隠しやヴェールをまとい、顔はあまり見えないようにするのが慣わしであることが多く、花嫁の象徴とも言える。実はこのかぶりものには、女性が顔を隠すことを求められていた数百年にも及ぶ歴史があったという。女性の顔隠しの起源とその文化的背景を地域ごとに考察し女性と婚礼の歴史を明らかにする。



裏面も見てね!

「おすすめの一冊」「啓発DVDお知らせ」





『私のシネマ宣言 映像が女性で輝くとき』

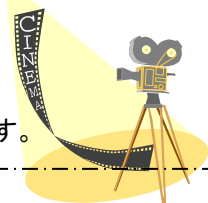
高野悦子 著 朝日新聞社 (778 ㌦) 1992 年刊

東京・岩波ホール総支配人である高野悦子さんは同ホールを根拠地に世界の名画を発掘、上映する「エキブ・ド・シネマ」運動を主宰し、1985 年には日本で初めて行なわれた東京国際映画祭でカネボウ国際女性映画週間をプロデュースした人である。

国内外の女性監督の作品を数多く紹介上映し、映像の世界でもっと女性が輝き活躍できるようにという信念のもと女性と映画を強く結び付けることに尽力された。

本書は高野さんが 60 歳の頃に執筆し、ご自身の仕事に対する思い、映画制作に携わる女性たちとの出会いが綴られている。今年 2 月に他界された。

「エキブ・ド・シネマの 30 年」高野悦子(編)もおすすめします。



過去の新聞でふり返る—14 年前の今月 しがの男女共同参画

図書資料室では 1998 年度から県内の男女共同参画社会に関する新聞記事を保存しています。少し昔の滋賀県を変化や時代を感じられる記事でご紹介します。

記事①

【時代の流れ 女性制服 県も廃止】 1999/5/8 (中日新聞)

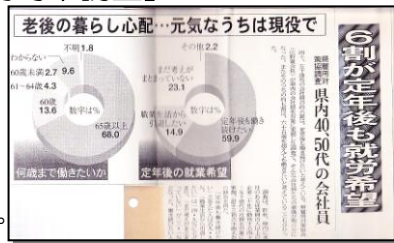
県は 4 月から女性職員の制服(事務服)を廃止した。ワープロやパソコンなどの普及で事務作業の変化や「なぜ、女性だけ制服なの」との意識の高まりなどで着用率が低下し、実態にそぐわなくなったというのが理由。



記事②

【6 割が定年後も就労希望 県雇用対策調査】 1999/5/29 (中日新聞)

調査は県内に本社のある従業員百人以上の企業 20 社に勤務する 40 代～50 代の社員を対象に実施。計 1364 人から回答を得た。「定年後も働き続けたい」と答えた人は 59.9% 「職業生活から引退したい」は 14.9%にとどまった。



新しい 啓発DVDが できました!



『ふたりがよりよい関係をつくるために ~デートDVってなに?~』

滋賀県健康福祉部 子ども・青少年局
企画・制作 23 分
男女交際でよりよい関係を築いていくための啓発ビデオが滋賀県子ども・青少年局より企画制作されました。

県内の大学生出演によるドラマなど、わかりやすく、興味を持ちやすい内容となっています。ご家庭でも借りて観ていただけます。

…図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

5月の休室日 7日・13日・20日・27日

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間
ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



♪ひとこと♪

体調が冴えず、気持ちはあるのに、調子に乗れない日々…。「いつやるの?今でしょ!」どこからか聞こえるフレーズに苛立ちを感じているのは、私だけではないと思います。(N)

図書・資料室だより

この本、
読んでみて!



2012年度 よく読まれた本

(2012/3/1~2013/2/28)

2012年度は年間で8,390冊の貸出がありました。
上位ランクの本は予約しないと借りられないほど、よく読んでいただきました。



1位 『負けんとき』

ーヴォーリス満喜子の種まく日々』(上・下巻)

玉岡かおる 著 新潮社 (913タ)



近江八幡で建築家のW. M. ヴォーリスと共にキリスト教伝道に身を捧げた一柳満喜子の波瀾の生涯。



2位 『格差社会を生きるー男と女の新ジェンダー論』

杉井静子 著 かもがわ出版 (367ス)

『ヘルタースケルター』

岡崎京子 著 祥伝社 (726オ)



「格差社会」の根源には男女の格差があり、ジェンダーとの関りをわかりやすく解説。

3位 『放蕩記』

村山由佳 著 集英社 (913ム)



母と娘、恐怖と呪縛の関係を作者の自伝をもとに小説化。

4位 『女友だち』

木村榮 著 フェミックス (914キ)

『知事は何ができるのかー「日本病」の治療は地域から』

嘉田由紀子 著 風媒社 (318カ)



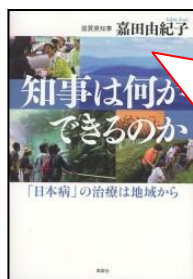
女友だちがいるー。ただそれだけで、人生に希望が満ちる。人と人との緩やかなつながりの物語。

5位 『地のはてから』(上・下巻)

乃南アサ 著 講談社 (913ノ)

『あきらめない 働くあなたに贈る真実のメッセージ』

村木厚子 著 日経BP社 (289ム)



知事として、何ができるのか。嘉田知事が地域自立の大切さについて、政策やこれからの滋賀県について語る。



北海道開拓移民として家族とともに知床にやってきた女性の生涯を丁寧に描いた小説。



懸命に生きてきた人生が一転、無実の罪で逮捕、そして拘留生活。無罪判決後の村木厚子さんが真実を語る。

裏面も見てね!

「おすすめの一冊」「さんかくえほん」



おすすめの一冊



『シンプルに生きる。』

柳田邦男 香山リカ 著 清流出版 (914ヤ)

作家・柳田邦男さんと精神科医・香山リカさんの対談。
生きづらい時代といわれる現代社会で「シンプルに生きる」とは？

作家の目から、精神科医の目から考える。

お二人の対談が、とても心地よく、気持ちが落ち着きます。
今を少し辛いと感じている人、子育てが苦しいと感じている人、あらゆる世代の方におすすめしたい本です。

過去の新聞でふり返る—1999年4月

しがの男女共同参画

図書資料室では1998年度から県内の男女共同参画社会に関する新聞記事を保存しています。1999年(平成11年)4月は、どんなことがあったのでしょうか？

記事①

【女性の権利 110 番開設】

1999/4/4(読売新聞)

滋賀県弁護士会はドメスティック・バイオレンスなどの女性の権利問題に関わる無料相談電話「女性の権利 110 番」を開設。



記事②

【初の女性隊員に任命状】

1999/4/6(京都新聞)

近江八幡市消防団の入団式が行なわれ、今春から初めて採用された女性消防団員に任命状が渡された。女性消防団員は、女性も男性と同じように防災に参画してもらい消防団活動を活性化させるのが狙い。



新刊のお知らせ!

“滋賀”を楽しく読もう!



『滋賀の子どものたからばこ』

滋賀県児童図書研究会 編 (K913シ)

滋賀県の自慢したくなるモノや人、歴史が読みやすいお話になった童話集。

ふなずし、安土の相撲、近江牛、信楽のたぬきなど、歴史や文献に基づいた滋賀の語り継ぎたいお話が11話収録されています。

どれも、子どもたちにとって、身近なところからお話が創作されていて、親しみやすい内容となっています。

…図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

4月の休室日 1日・8日・15日・

22日・23日・30日 (23日は施設点検日)

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)



♪ひとこと♪

春といえば、花粉症。マスクが欠かせなくなりました。風邪もひきやすい時期です。手洗い、うがいの予防とやっぱり睡眠です。無理せず乗り切りましょう!
(N)